

1月20日 説明会資料

供給規程改定について

2024年1月20日

芦屋浜エネルギーサービス株式会社

はじめに	・ ・ ・ ・ ・	3
1. 熱料金見直しの背景		
(1) 損益状況	・ ・ ・ ・ ・	5
(2) LNG（都市ガス原料）価格の推移	・ ・ ・ ・ ・	6
2. 熱料金の認可申請概要		
(1) 申請原価	・ ・ ・ ・ ・	8
(2) 熱料金の値上げ幅	・ ・ ・ ・ ・	9
(3) 熱料金表（申請中）	・ ・ ・ ・ ・	10
(4) 影響額試算（モデルケース）	・ ・ ・ ・ ・	11
3. 今後の予定など		
(1) 今後の熱料金についての検討	・ ・ ・ ・ ・	13
(2) スケジュール	・ ・ ・ ・ ・	14

いつも当社の熱をご利用いただきまことにありがとうございます。当社は1978年以降45年にわたり安定した熱供給を継続しています。

当社は1989年の値下げ改定以降、需要家さまの減少等さまざまな環境変化がございましたが、コストダウン等を行いながら34年間料金改定を行わずに事業を進めてまいりました。

しかしながら、昨今の世界的なエネルギー価格の高騰と高止まりにより熱の燃料費が高騰し、2022年度の収益は1億円を超える大幅な赤字決算となりました。

このため、当社は経営の安定化を図るとともに、当地区に安定した熱を安全に供給し続けるためにも、供給規程の改定を検討をすすめ、このたび値上げの申請を行うこととさせていただきました。

お客さまには厳しい経済状況の中で、更なるご負担をおかけすることになりますが、当社は今後も経営効率化を進め、お客さまのご負担を少しでも軽減できるよう取り組んでまいりますので、なにとぞご理解を賜りますようよろしくお願いいたします。

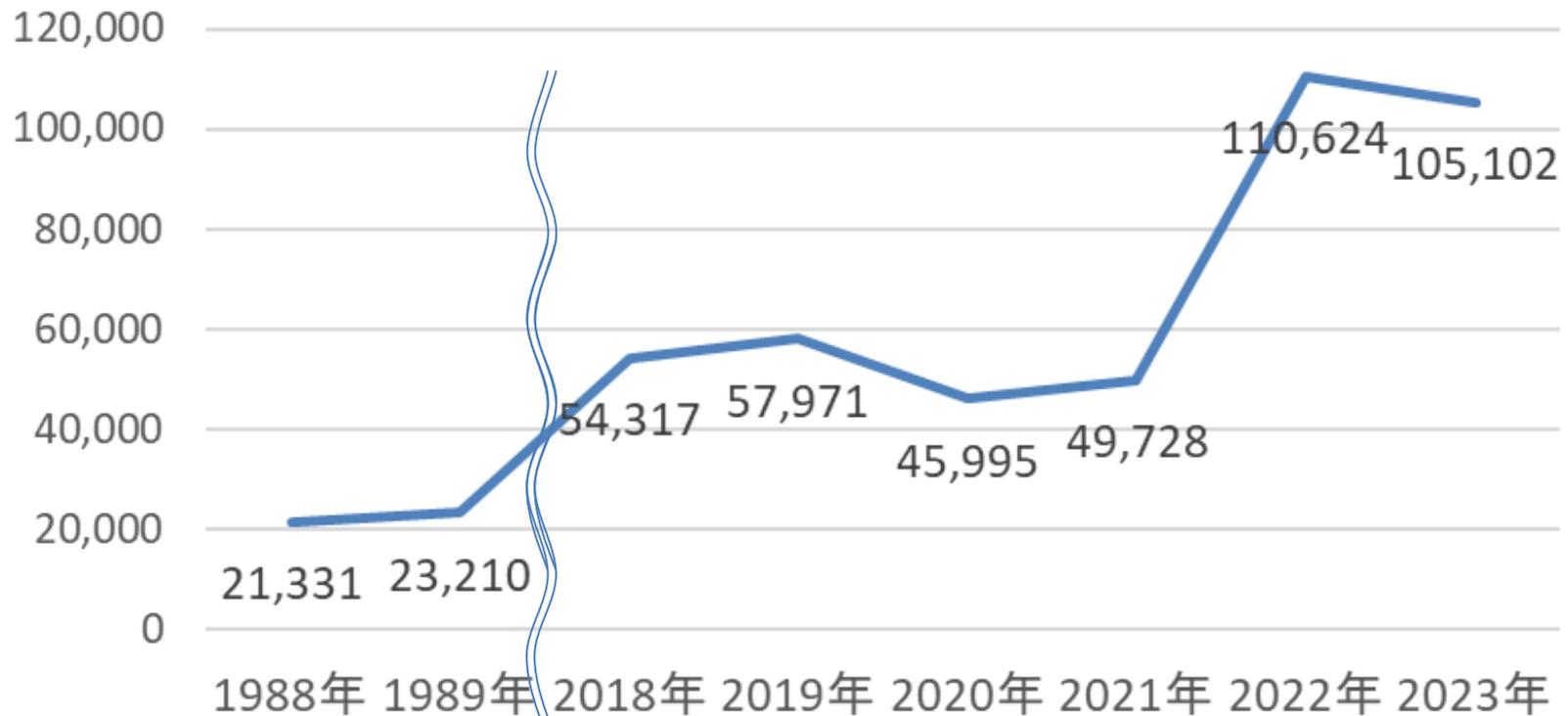
芦屋浜エネルギーサービス株式会社 代表取締役社長 谷 敏成

1. 熱料金見直しの背景

1. 背景 (1) LNG (都市ガス原料) 価格の推移

- 当社は都市ガスを燃料に熱を製造しております
- 都市ガスの原料となるLNG (液化天然ガス) の価格は、現行料金の1989年と比べ、大きく値上がりし、当社の都市ガス購入価格にも同様に影響しています。

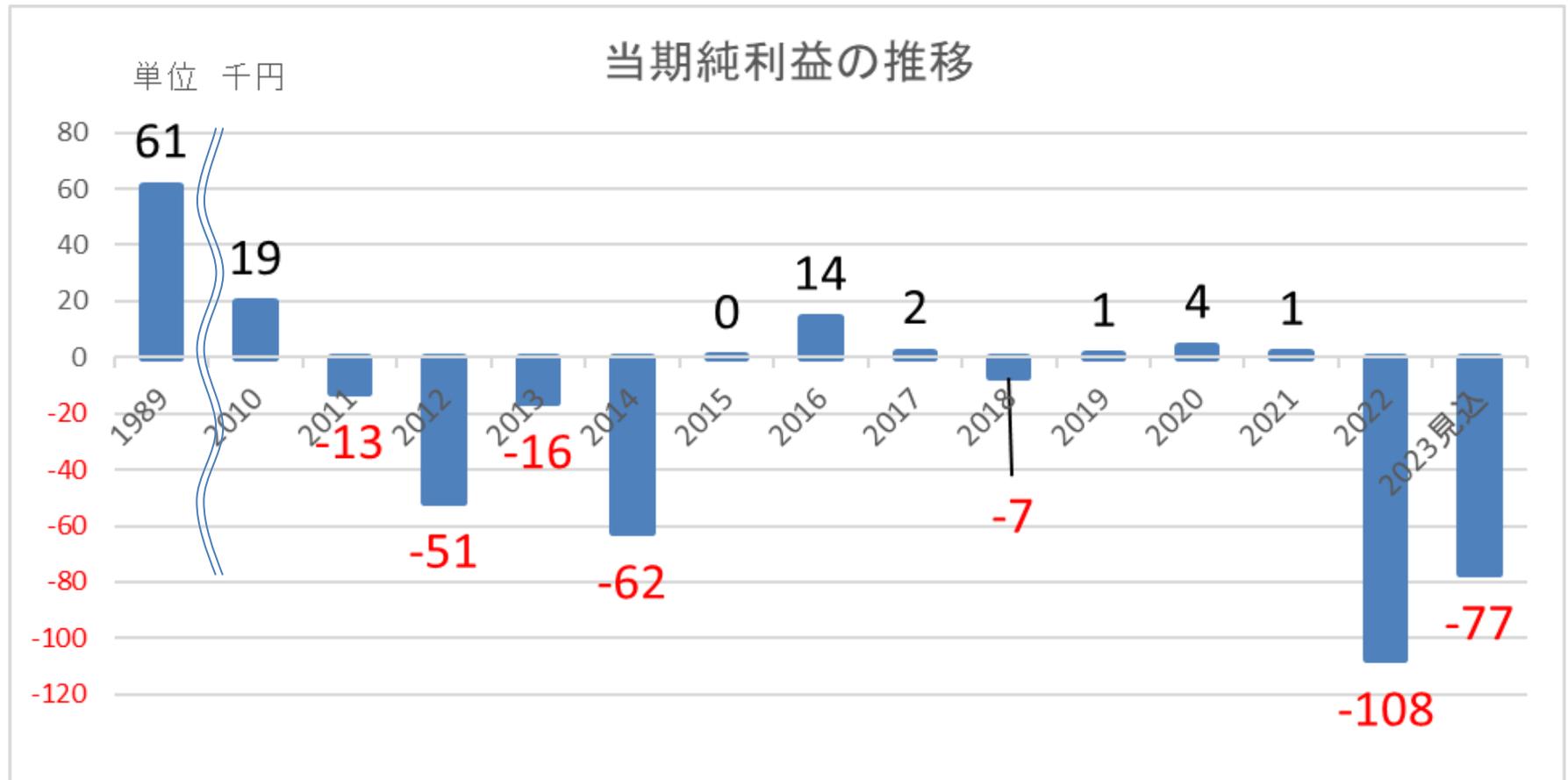
(単位 円/トン) LNG(都市ガス原料)の価格推移



全日本通関統計

1. 背景 (2) 当社の損益状況

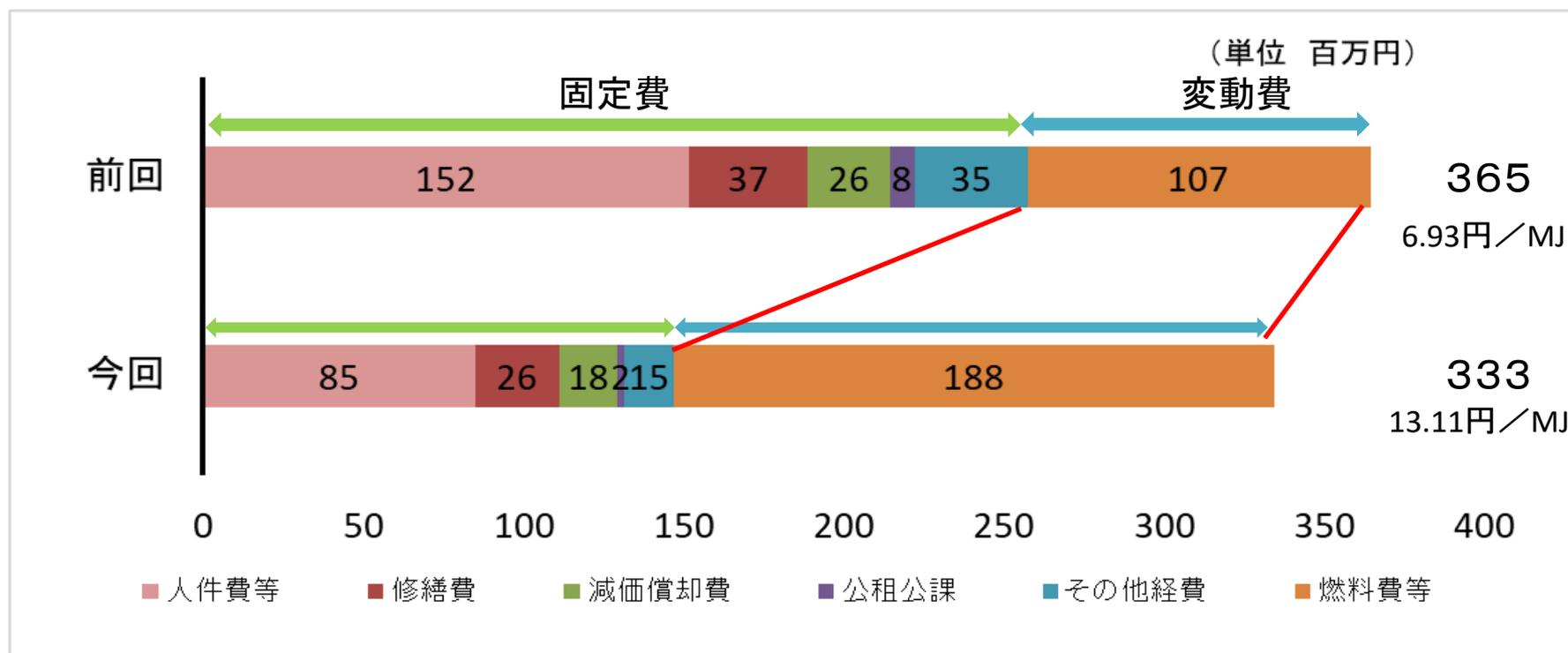
- 世界的な燃料価格の高騰により、弊社購入燃料価格が高騰したため、熱供給コストが熱事業収入を大きく上回る状態が続いています
- このため、熱事業損益は2022年度▲107百万円、2023年度▲77百万円見込となり、今後も同等の損失が予測されます



2. 熱料金の認可申請の概要

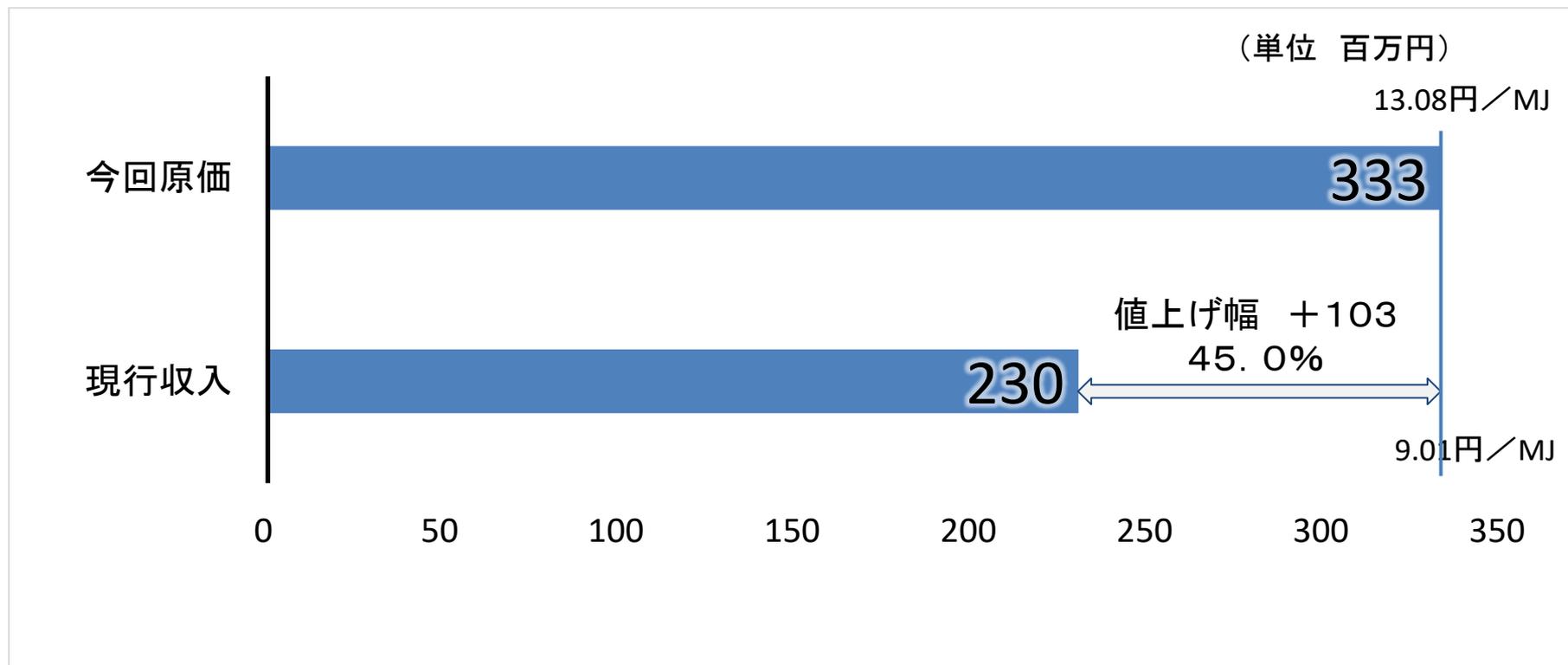
2. 申請の概要 (1) 原価

- 2024年4月～2029年3月の原価を算定した結果、333百万円／年となりました。前回（1989年）申請時の原価と比較して、およそ30百万円減少しています。
- 原価低下の要因は、業務の外注化や設備のスリム化により修繕費、減価償却費など固定費を▲110百万円コストダウンを図ってまいりましたが、一方で世界的なエネルギー価格の高騰により燃料費が80百万円増加しています。



2. 申請の概要 (2) 熱料金の値上げ幅

- 今回の原価（333百万円／年）と将来の需要想定をもとに、現行料金から求めた熱料金収入（230百万円／年）との不足額103百万円／年（+45.0%）を熱料金値上げ幅として申請いたしました
- 認可された場合、2024年4月1日から実施する予定です。



2. 申請の概要 (3) 熱料金表 (審査中)

(税込)

	タイプ	新料金	現行料金	差	改定率
基本	兵庫県営住宅	3,564	3,476	+88	+2.5%
	兵庫県住宅供給公社	4,697	4,576	+121	+2.6%
	都市再生機構住宅 Aタイプ	4,741	4,631	+110	+2.4%
	都市再生機構住宅 Bタイプ	5,720	5,577	+143	+2.6%
	民間住宅 (アステム芦屋) Aタイプ	5,610	5,467	+143	+2.6%
	民間住宅 (アステム芦屋) Bタイプ	6,094	5,940	+154	+2.6%
従量 料金	高温水 (円/MJ)	8.86	4.14	+4.72	+113.8%
	給湯 (円/100ℓ)	159.58	79.28	+80.30	+101.3%
	暖房 (円/暖房単位)	180.74	84.42	+96.32	+114.1%

※経済産業省の審査により単価が変動する可能性があります

2. 申請の概要（4）影響額試算（モデルケース）

- お客さまのご利用状況に応じ、1か月あたりの影響額は以下の通りです。

●給湯のみをご利用のケース

(税込)

	給湯	暖房	新料金	現行料金	値上額	改定率
給湯モデル①	5	0	5,869	5,341	+528	+10%
給湯モデル②	35	0	10,656	7,719	+2,937	+38%
給湯モデル③	65	0	15,444	10,098	+5,346	+53%

※給湯使用量は1か月の平均値

※計算式：基本料金＋従量料金単価×給湯使用量

●給湯・暖房をご利用のケース（暖房期）

(税込)

	給湯	暖房	新料金	現行料金	値上額	改定率
給湯暖房モデル①	5	10	7,676	6,185	+1,491	+24%
給湯暖房モデル②	35	30	16,079	10,252	+5,827	+57%
給湯暖房モデル③	65	100	33,518	18,540	+14,978	+81%

※給湯・暖房使用量は1か月の平均値

※計算式：基本料金＋給湯従量料金単価×給湯使用量＋暖房従量料金単価×暖房使用量

3. 今後の予定等

3. 今後の予定等 (1) 今後の熱料金についての検討

- 今後エネルギー価格が安定的に低下した際には、値下げ等を含め再度見直しを検討します

3. 今後の予定等 (2) スケジュール

- 指定旧供給区域に指定されている熱供給事業者は、需要家保護の観点から料金規制や供給義務などの規制があり、変更などには経済産業大臣の認可が必要となります。

令和6年

- | | |
|----|---|
| 1月 | 電話相談窓口の開設（5月ごろまで継続する予定）
需要家さま向け説明会（第1回）開催 |
| 2月 | 認可予定
需要家さまへの認可結果の周知チラシ配布（2回目）
需要家さま向け認可結果に関する説明会（第2回）開催 |
| 4月 | 4月1日から新料金開始 |

芦屋浜エネルギーサービス 料金改定専用電話

0797-34-0705

(9:00~12:00、13:00~17:00 土・日・祝日を除く)

お問い合わせのほか、ご自宅の新料金の試算も承ります。

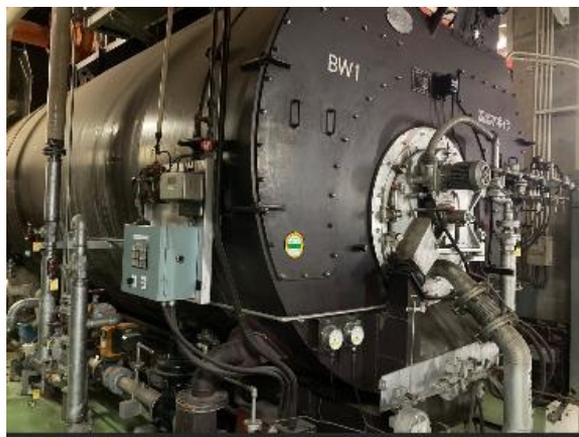
追加説明資料

追加説明 1) 今後の設備投資について (ボイラの更新)

- 高温水を製造する炉筒煙管ボイラー (3基) の更新を2026年に予定しています
- 同ボイラーは熱供給事業にとって心臓部といえる設備ですが、3基とも1979年2月に取得したものであり、メーカー推奨取替期間 (30年) を大幅に超えて45年稼働しています
- 当ボイラ更新により減価償却費 1.8 百万円/年は新たな固定費となりますが、万が一、需要期を含め長期に補修を要する重大な故障が発生した場合は、熱の安定供給に支障が出かねない状況にあり、そのような状況の回避のために更新を計画しています。

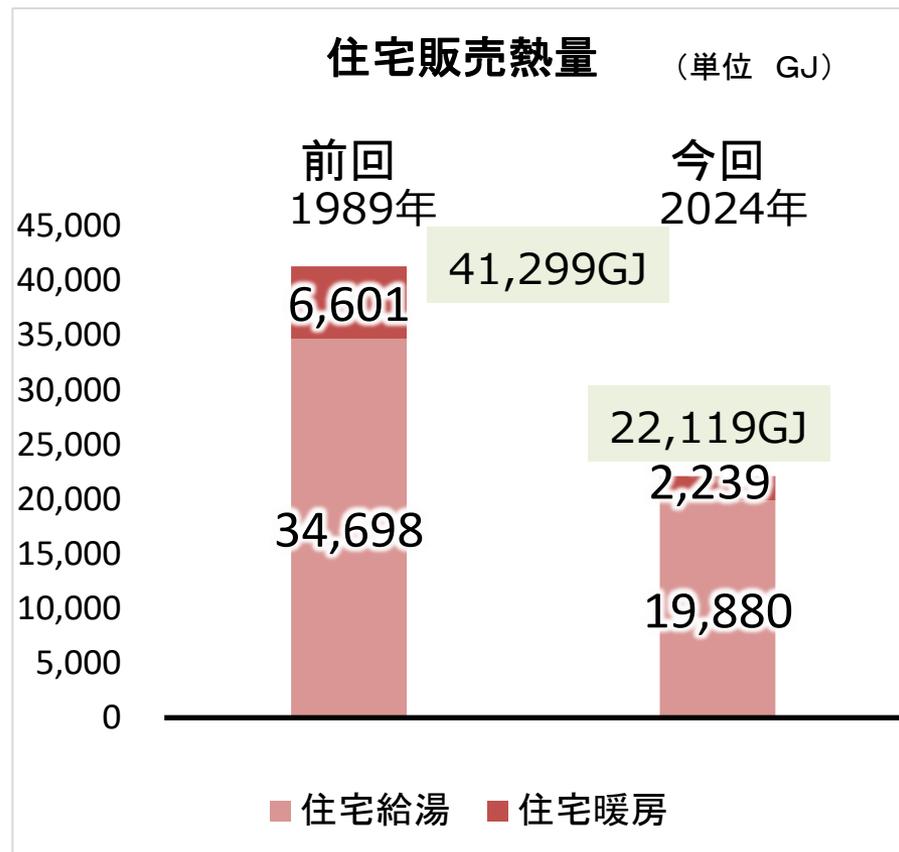
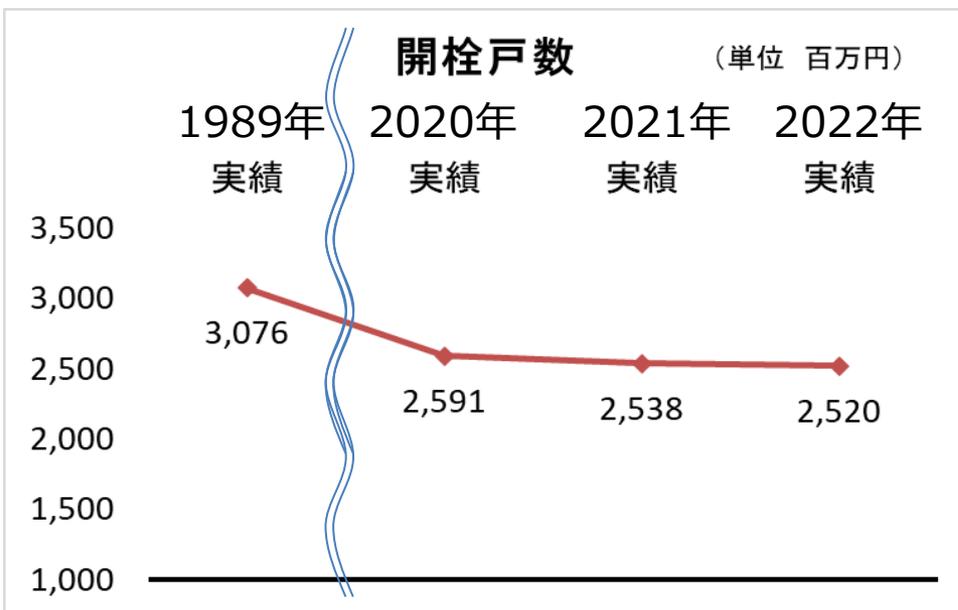
■ 設備投資の概要

設備	炉筒煙管式ボイラ× 3 台入替
時期	2026年4月
投資額	168百万円



追加資料 2) 需要の状況

- 住宅需要は前回と比べ半分以下に低下しています。
- 需要家件数は2,520件を想定しています。これは前回1989年と比べおよそ▲500件です
- また、熱の販売量は核家族化の進展等や暖房需要の減少などにより減少しています。



以上